



気高SGH通信

平成28年度文部科学省指定スーパーグローバルハイスクール



SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

No.41 令和3年2月15日

海を素材とするグローバルリテラシー育成

～世界を舞台に活躍するスケールの大きな人材を目指して～

宮城県気仙沼高等学校

古川黎明サイエンスフェスティバル

2月上旬、「古川黎明サイエンスフェスティバル」が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、1日(月)～5日(金)の期間、参加各校の発表動画を事前発表し、相互視聴を行い、6日(土)にリアルタイム発表を行う形式での開催となりました。

本校からは1年生の熊谷藍斗くん、畠山真衣さん、三浦瑛くんの班が事前動画発表で、内海雄太くん、萩野谷南帆子さん、小山桃果さん、金野大和くんの班と、小野寺真大くん、小山夕稀さん、熊谷一夏さん、佐藤杏哉くん、小松創くんの班がリアルタイム発表で参加しました。

参加した生徒は「他校の発表を聞いて、スライドの構成や発表の形式・態度などについて新たな学びを得るとともに、自分たちの発表にもまだまだ改善の余地があることに気づきました。今後の研究活動に生かしていきたい。」と語り、探究への思いを強くしたようです。



全国海洋教育サミット

2月11日(木 建国記念の日)、東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センターと公益財団法人日本財団との共同主催で「第8回全国海洋教育サミット」が開催されました。これまで実施された発表会同様、オンライン開催となりました。本校からは1年生の泉虎太郎くん、大内明音さん、千葉将敬くんの班が「気仙沼市内における海産物を利用したバイオマス発電を実現するには」のテーマで発表し、閉会行事の際、海洋教育センター長の田中智志先生からお褒めの言葉をいただきました。

大内さんは「海洋教育サミットは今回が初めての参加でしたが、全国の高校生の研究や貴重なお話を聞くことができ、とても良い経験になりました。学んだことを研究に生かし、さらに良いものにしていきたいと思います。」と感想を述べていました。

